

人権文化をすすめる

「多可町民の集い」



多可町では、住民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会になるよう、「多可町民の集い」を開催します。

令和7年8月20日(水) 午後7時30分開会

ベルティールホール(多可町文化会館)

「見えないものが見えてきた

～障がい者理解を広げるために～」



「全盲の落語家」桂 福点 さん

障がい者の生活介護事業所「お気楽島」所長

桂 福点 さん

1968年、兵庫県生まれ。

中学生の頃に視力を失いましたが、子どもの頃から音楽に親しみ、大阪芸術大学に入学し、音楽療法を研究されました。

阪神・淡路大震災後の病院でのボランティア活動を通して、音楽や笑いが人の心に生きる力を与えることを知り、桂 福団治(かつら ふくだんじ)師匠に弟子入り。「桂 福点(かつら ふくてん)の名前をいただき、古典落語をはじめ、独自の音や音楽、映像を交えた創作落語や障がい者理解を深めてもらう講演に取り組みられています。

※町民の集いでは、手話通訳・要約筆記も行います。

主催 多可町・多可町人権啓発協議会

問い合わせ先 生涯学習課人権啓発推進室(多可町隣保館) ☎・FAX 32-1389